

幸せな生活は、県民誰もが望むところですが、その基盤となるものは心身共に健康なことであり、県民の健康は何ものにもまして第一に守られなければならない。

また、近年における生活様式や食生活等の変化に伴って疾病構造が複雑化し、高血圧・糖尿等いわゆる半健康人が増加する傾向にあります。

衛生行政におきましては、このような現状をふまえて、積極的な健康づくりの総合施策を強力に推進するとともに、食



へき地診療

品や医薬品等の安全性の確保に努め、安全な生活環境の確保を図ります。(県民健康意識の高揚)

★県民健康づくりのひろば……………千二百二十五万円

県民一人ひとりの健康に関する自覚と認識を高め県民総ぐるみの健康づくり運動に盛りあげるため、従来実施してきた健康づくり月間における健康展、広報活動をさらに発展拡充し、成人病、青春衛生、食品衛生等の健康についての幅広い相談、また、栄養、運動、休養に関する

指導、さらには、体位・体力測定、血圧測定、貧血検査等の諸検査を行うとともに、この期間中に健康づくり推進事業の総括として「健康づくり県民大会」を開催します。

★薬物乱用防止対策……………五百二十四万円

暴力団を中心とした覚せい剤乱用は、青少年や主婦にまで拡大・浸透しつつあり、また、青少年のシンナー・接着剤乱用は、凶悪な犯罪や重大な事故につながるなど深刻な社会問題となっています。これらの撲滅を図るため、啓発活動を強化し、販売保管の適正化を推進します。(保健医療体制の整備充実)

☆松橋療養施設整備事業……………一億四千二百五十万円

国際障害者年に伴い、肢体不自由児の通園治療部門を強化するため、増築整備を行います。

★総合保健センター建設調査……………二百十八万円

県民の健康水準を向上させる拠点として、総合健診、健康増進、教育研修、保健医療情報等の機能を備え、県民の健康づくりに対する中心的、指導的な役割を果たす総合保健センターの建設について、昨年に引き続き調査検討を行い、その早期実現を図るよう努めて参ります。

☆市町村保健センター建設費補助……………千六百八十六万円

地域住民に密着した健康相談、健康教育、健康診査等を行う健康づくりの拠点として、市町村保健センター整備に助成します。

☆熊本地域医療センター建設費補助……………一億円

救急医療体制の整備充実を図るため、熊本中央救急医療圏における病院群輪番制病院および小児救急医療体制を強化することを目的として、熊本市医師会が建設中の熊本地域医療センターの整備に助成します。

☆小児医療設備整備費補助……………千三百万円

ライフサイクルの出発点であり、次代の担い手の育成を図るための周産期医療を向上させる目的で、熊本市市民病院の新生児集中管理室(NICU)の設置に助成します。

☆新生児救急搬送用医療整備事業……………六百四十五万円

新生児の搬送用保育器ユニットを、牛深市、本渡市、人吉市の三カ所に配置し、新生児救急医療設備を整備されている熊本市市民病院への搬送の際に、同病院の新生児専用救急車と連携して、中継地点までの相互搬送を行い、転送時間の短縮を図り、新生児の生命確保に努めます。

☆水保保健所移転改築……………二億六千三百七十三万円

建物が老朽化し、狭隘となつて地域住民の保健ニーズに応えられなくなったた

め移転改築し、地域における公衆衛生の向上と住民の健康増進に努めます。

★献血事業の推進……………二千六百八十一万円

年々需要が増加する輸血用血液を献血によって確保するため、献血意識の高揚と新規採血源の開拓に努めるとともに、血液比重不足のため採血できなかった者に対する保健指導等を実施します。(検診の充実強化)

☆子宮がん施設検診補助事業……………五百七十六万円

病院等において子宮がん検診を行うとともに、受診者の負担を軽減するため費用の一部を補助し、検診の促進を図ります。

★先天性代謝異常検査費……………三千六百十六万円



街頭献血

★乳児運動発達検診事業……………二百九十四万円

脳性マヒ児の医療対策を効果的に推進するため、乳児の運動発達の状況を検診し、適切な医療を受けられるよう指導します。

★育児電話相談事業……………百六十四万円

育児に対する悩みや不安を解消し、健全な子供を育てられるよう電話相談に応じます。

★未熟児対策費……………千三百六十六万円

★0歳児医療費……………二億八千四百七十八万円

★日本脳炎予防対策調査費……………九千二万円

☆国際障害者年精神障害者スポーツ大会開催事業……………三十二万円

★思春期精神衛生対策……………百三万円

★一歳六カ月児・三歳児健康診査費……………千七百六十九万円

(人をとりにくく環境の整備)

★環境衛生指導対策……………千九百二十二万円

営業施設の監視指導体制を確立し経営の安定を図り、業者の自主活動を促進します。

★簡易水道の整備補助……………四千五十一万円

二十二市町村が実施する簡易水道施設

整備事業に対し助成します。

★温泉指導対策……………四百二十九万円

温泉を保護し、利用の適正化を図ります。

★食品衛生対策……………二千九百四十七万円

食品衛生監視指導の効率化および業者の自主管理体制を整備強化し、食品の安全確保を図ります。

★乳肉衛生対策……………九千三百六十六万円

食肉の安全確保を図るため、県内の各と畜場におけると畜検査及び乳肉食品の監視指導を実施します。

★狂犬病予防対策……………一億四千三百二十四万円

★動物保護管理対策……………二百四万円

動物の虐待防止並びに適切な飼養保管の指導を行います。

★生活環境保全対策……………千八百四十六万円

ごみやし尿などの一般廃棄物処理、衛生害虫駆除および特定建築物の清掃等、生活環境の保全を図ります。

★産業廃棄物処理対策……………六百九十二万円

産業廃棄物の適正処理を確保し、公害防止と生活環境の保全を図るため、計画的な監視指導の実施と適正処理についての啓蒙並びに産業廃棄物処理基本計画の推進を図ります。